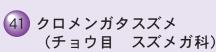
さる7月11 日 「涸沼ラムサー

涸沼環境学習会(夜の昆虫観察) いるところです。 茨城町主催の涸沼環境学習会の一環

飛来し、皆さん大喜びでした。 さらには国蝶のオオムラサキの雄まで ました。予想より多くの昆虫が集まり トラップに集まる虫の観察会を実施し の高台にある「太陽の広場」でライト 飛来しましたが、その中に実は珍し バサバサと大型のスズメガが4種類 先月8月1日に涸沼自然公園 とか成功裏に終わったのでほっとして 約登録記念シンポジウム」で柳生博さ んと一緒にトークショーを行い、なん · ル 条

里山に育む生きものたら



学名 Acherontia lachesis (Fabricius, 1798)

文・写真/小菅 次男

人の顔を持った蛾

黒条が発達する事、 翅と腹部の黄色が目立つ蛾です。 呼ばれるクロメンガタスズメです。 インの幅が広くなることなどで区別が スズメに似ていますが、本種は後翅の 翅を広げると10㎝を超える大型で、 で「人面蛾」または「ドクロ 背中に人の顔のような模様があるの 元から茨城県に住んでいるメンガタ 腹部背面の藍色ラ 蛾」とも 後前

ついに来ていたか!

出来ます。

は典型的なイモムシ型で、腹部の後ろ

に突起(尾角)があるのが特徴です。

イモムシとは元来、サトイモやサッ

マイモの葉に付くスズメガの幼虫をさ

だのを思い出します。

スズメガの幼虫

モなどの野菜類に被害を与えます。 幼虫はゴマ、ナス、トマト、ジャガイ

昔、「いもむしごろごろ」と口ずさん

なって関東北部でも定着が確認され、 |暖化の影響で分布が北上し、近年に や東南アジアに分布する蛾でしたが、 元々は南方系の種で、 九州以南の沖

蛾が見つかりました。

城県にはいないはずのスズメガの1種 かりましたが、調べてみるとなんと茨 ました。すぐにスズメガの幼虫とは分 幼虫は巨大なイモムシ 「クロメンガタスズメ」の幼虫でした。 ・マトに10㎝ほどのイモムシを見つけ 3年前に妻の実家の城里 町

蜂家から嫌われています。 ると顎をすり合わせて鳴きます。 月ころに成虫が出現します。 茨城町では初確認です。 ツバチの巣の中に侵入して蜜を吸い と腹部で「キイキイ」と鳴くのでびっ りさせられます。 成虫は巨大でよく灯火に飛んできま 年1回の発生で日本では4月 また、蜂蜜泥棒として知られ、ミ 幼虫も刺激を受け 捕まえる か

編集・発行/茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748 ホームページアドレス http://www.town.ibaraki.lg.jp/ メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

茨城町の人口と世帯数 ※カッコ内は前月比です。(住民基本台帳 平成27年7月末現在) ◆総人口 33,731人 (-11)、男 16,867人 (-17)、女 16,864人 (+6) ◆世帯数 12,791世帯 (-11)